

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所 ひなたぼっこすき			公表日	R7年 3月7日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		当施設が、建設当初20名までの受け入れを想定しており、活動スペースとしては十分な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準以上のスタッフを配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちの動線に合わせて、視覚的にも空間的にもわかりやすい配置を工夫したつくりとなっています。	車いすのお子さんがより使いやすいようにユニバーサルベッドなどの設備を整える必要性を感じています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・消毒作業に加え、定期的な清掃業所のワックス清掃なども行っています。また、活動空間は静と動の活動に分けられています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		本施設に加え、同法人内にある個室「ほっとルーム」を使用した個別療育を受けることが可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		学期ごと、長期休暇ごとの振り返りの会を設け、定期的に目標設定と振り返りを全スタッフで行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、年度の末に保護者評価を行い、改善につなげられるよう取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、年度末に職員評価を実施し、業務改善に繋げられるよう取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		法人内の第三者委員会との定期的な情報共有の会を設けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内にある研修委員会と連携し、法人内での研修をはじめ、外部研修への参加や部署ごとの勉強会も積極的に行っています。	常に情報のアップデートが必要と考えています。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		今期から支援プログラムと作成し、対象者への説明と公表を行っています。	今後の定期的なアップデートが必要と考えています。また、プログラムに沿った支援をゼンスタッフが取り組めるようスキルアップを継続的に行う必要があります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		年2回の相談会を実施し、子ども、保護者と共に支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画の作成、作成後の情報共有会を毎回行い、共通理解の元、支援を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の作成、作成後の情報共有会を毎回行い、共通理解の元、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の振り返りや情報共有を行い、フォーマル、インフォーマル共に考慮した支援を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの年齢、時期に合わせた関係機関との連携や支援会議なども行い、具体的には就労支援に関する移行のため、法人内にある就労継続支援事業所での実習体験などを行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的なスタッフ会議により、情報共有、企画、振り返りも含め、すべてチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的な新しい活動や支援内容の見直しを行っています。	外部研修など行い、活動の幅を広げるよう取り組んでいきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況、年齢、特性等にあった形で支援を受けられるよう支援計画に基づいた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録に合わせて、振り返り内容の記載なども行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		基本的には半年に1回、また、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立支援、体験活動、地域交流、主体性を目指した活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの意思を尊重し、自己決定を基本とした活動を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回、会議のは児童発達管理責任者が出席します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		宇都支援協議会を通じた様々な業種との連携を行うとともに、支援会議などを通して情報共有も行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		共有のカレンダーを発行し、情報共有、連携に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご利用前には、保護者、相談支援専門員も含め、保育所等での情報共有のための会を設けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業後のサポートも行えるよう情報共有のための会を設けています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的な研修、情報共有を行っています。	同市内には発達支援センターがなく、県内になるセンターとの連携を図っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の学童や兄弟、他事業所との交流を定期的に行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会内にある、地域課題に取り組む児童ワーキンググループに所属し、定期的な活動を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎や迎えの際に、保護者の方と情報を共有し、子どもの状況を把握しながら支援を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的な家族イベントを開催し、情報共有、支援について学ぶ機会を提供しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用前の契約時に細かな説明を行っています。	説明が初回のみとなってしまうため、その都度、状況に応じた説明を行うこととしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画を用いて、サービス提供に関する意向確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		毎回、支援計画を保護者も一緒に作成し、同意を得ながら作成しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な相談会に加え、保護者を中心として家族会活動等を行う中で、相談の機会を作っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		家族会に加え、家族交流イベントも実施し、定期的に家族同士が交流できる機会を設けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人内部の苦情解決委員会、または第三者委員会を設け、迅速に対応できるシステムを作っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		公報に加え、インスタを用いたイベント、日ごろの様子の発信なども行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理してあるスタッフルーム、また、書庫もカギをかけ保管し、スタッフ間での研修会なども行い、個人情報の保護について学ぶ機会も設けています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		定期的面談の他、メールやLINEを使った相談や意思確認も行っています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の企業などの協力を仰ぎ、イベントの企画などを行っています。また、地域のボランティアの受け入れを行っています。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルの存在をについては、契約書に基づき周知しているが、HPなどを活用し、閲覧も可能なようにしたいと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内のBCPに基づいて災害に備えています。定期的な訓練も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前のアセスメントで把握しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、診断書が出るほどのアレルギーのあるお子さんはおられません。適切な対応を心がけています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			今後の定期的なアップデートが必要と考えています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の配布を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについては、スタッフ会議で情報共有を行っています。	日々の振り返りの際にも情報共有を行うため、ヒヤリハットとして記載しているものが多くありません。明確な区分けが必要と考えています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修などを通じて、学ぶ機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、実際に身体拘束を行う場面がありませんが、法人内に規定を設け、適切な対応ができるよう体制を整えています。		